

稲作管理特報

令和6年7月22日
入善産米品質向上対策本部
黒東地域農業技術者協議会

コシヒカリの生育は、平年並に推移しており、田植日が5月12日の場合、出穂期は8月4日頃と見込まれます。

8月～9月の気温は平年より高いと予報されていることから、葉色が薄い（葉色が4.0以下）ほ場では、白未熟粒の発生を防止するため、追加穂肥を施用しましょう。

水管理については、幼穂形成期～出穂期までは「飽水管理」を行い、稲体活力を維持しましょう。また、出穂から20日間は「湛水管理」を必ず行いましょう。

1. 「コシヒカリ」の追加穂肥 （基肥一発肥料体系のみ）

基肥一発肥料を使用したほ場で、7月28日頃（出穂の7日前）に葉色が4.0（洪積土の場合3.8）以下の場合は、追加穂肥を施用しましょう。

施用時期	肥料名及び施用量
7月28日（日） ～8月1日（木）	「追肥3号」など 穂肥用の肥料 5～7kg/10a (N成分：0.75～1.05kg/10a)

※洪積土の地区 入善町：野中、舟見 朝日町：境、笹川、南保、山崎、大家庄

2. 今後の水管理

○幼穂形成期～出穂までの管理・・・飽水管理

常に足跡や溝に水が残るくらいの状態を保ち、根の活力を維持し、葉色を高めていきましょう。ただし、4日以上水が滞っていたら落水してください。



飽水管理

○出穂後の管理・・・出穂から20日間は湛水管理

田面が出ない程度に湛水状態を保ちましょう。ただし、溜めっぱなしにせず、ほ場内の水を入れ替えましょう。

※かけ流しは絶対にしないでください。